



# 慶應義塾大学イノベーション推進本部

<https://www.open-innov.keio.ac.jp/>



## 統括CM: 杉山 直人

大手都銀や教育・介護分野のリーディングカンパニー等での30年にわたる事業開発実績をもとに、(株)産業革新機構およびVB企業での役員を歴任してきました。多様かつ豊富なビジネス経験と金融業のノウハウを、わが国産業界における大学の新たな価値創造に活かします。

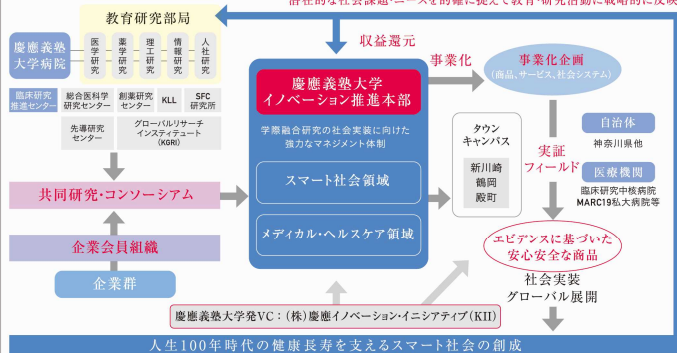
## 統括CMからのメッセージ

慶應義塾大学は、建学の精神である実学の理念のもと、従前、各学部・研究科、病院およびタウンキャンパス等、多様な組織をもつ総合大学としての強みを発揮し、産学連携における多様な実績を残してきました。イノベーション推進本部は、主に健康長寿社会の実現に向けたメディカル・ヘルスケア領域およびスマート社会領域における、①大型の共同研究プロジェクト ②ライセンス事業 ③起業支援を推進する観点から企業における多様なニーズに対し、中長期的な視点で柔軟に対応する組織として発足しました。多くの産業界出身者が当部に参画しており、企業ニーズと学内シーズの効果的なマッチングを図る「イコールパートナー」としての活動を推進しています。

## 機構の取組概要

### 既存組織と有機的な連携を図り、エコシステム構築を目指す

潜在的な社会課題・ニーズを的確に捉えて教育・研究活動に戦略的に反映



## 研究分野例



**KGRI IoT健康ライフ研究コンソーシアム**  
IoT Healthcare Research Consortium

<https://iot.kgri.keio.ac.jp/>

イノベーション推進本部は 2020年4月に慶應義塾大学グローバルリサーチインスティテュート (KGRI) に設置された「KGRI・IoT健康ライフ研究コンソーシアム」の実質的な立ち上げを行いました。

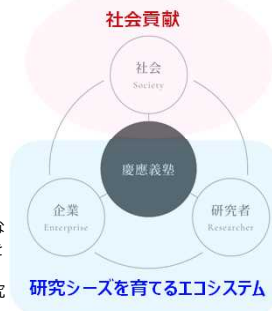
### 研究テーマ～医学的データの測定と生活習慣・環境要因の改善による健康寿命延伸～

1. 人体の恒常性:腸内細菌叢や免疫力等の評価
2. 人体の感覚:視力および聴力の評価
3. 人体の運動能力:歩行運動および転倒リスクの評価
4. 人体の認知能力:会話能力および認知能力の評価
5. 環境および生活習慣:睡眠、食事、運動量、ストレスの評価

### 社会、企業、研究者の三者で推進する大学研究モデル

- 社会: 健康長寿社会で役立つ健康機能年齢インデックス
- 研究者: 研究協力費を学際的研究で複数プロジェクトで活用  
研究テーマの組合せによる健康機能の評価研究
- 企業: 研究協力費の提供により、研究シーズから協力  
共同研究・開発へのスムーズな移行

このコンソーシアムは、世界をリードする日本の長寿社会における様々な課題、リスクに関わる研究、そして健康増進、健康長寿のための支援を行うシステムの基礎技術開発を行い、その成果を広く社会に広めることを目的とし、イノベーション推進本部は、今後、このコンソーシアムの研究成果をもとに社会実装のサポートを行っていきます。



## 主な取組み

「組織」対「組織」における産官学連携ができるよう、部門・領域横断的にプロジェクトを組成中です。具体的には、最先端の各研究分野への支援はもちろんのこと、文理融合、AIやIoTビッグデータ解析技術を活用したメディカル・ヘルスケア領域とスマート社会領域の融合等について、構想の立案段階から関わっています。同時に、学内シーズを産業界へ紹介する際には、当本部人材のこれまでの経験を活かし、コンソーシアム型を含む、社会実装しやすい形で多種多様な展開を企画・提案しています。これらにより、高度な知財・法務マネジメントを加え、学内シーズに付加価値をつけた形でプロジェクトを構築していくことで、産業界・大学双方が納得する結果としての、自立的経営の財源取得を目指しています。その表れの一つが、個別の企業との密接な連携を図るための会員組織です。イノベーション推進本部設立後、一年弱で、複数の企業が会員になりました。また、起業支援においては、大学発ベンチャーの支援にとどまらず、企業とのジョイントベンチャー設立など、企業・ベンチャー・大学三者にとって、より良い形を柔軟に検討していきます。